

# Clinical Cases in Tropical Medicine

## 熱帯感染症勉強会 【6月】

症例から学ぶ診断・鑑別・初期対応

旅行医学、寄生虫症、輸入感染症、重症熱性疾患まで。  
毎回1症例を手がかりに、何を疑い、どう診るかを一緒に考えます。

対象：熱帯医学・感染症に関心のある医療者・研修医・学生

日時：毎週金曜日、7:20~8:00

開催方法：オンライン



### 6/5 (Case 6)

#### 移動する皮下腫瘍と蛇行する皮疹

ボツワナ旅行後、鼠径部から胸へと移動するかゆみを伴う蛇行皮疹。さらに右肩には境界明瞭な硬い腫瘍が出現し、好酸球増加もみられる。同行者にも同様の症状がある。

共通曝露は何か。どの寄生虫症を最優先で考えるか。“移動する病変”の正体を症例ベースで検討します。

### 6/12 (Case 7)

#### 見逃されやすい泌尿生殖器住血吸虫症

アフリカ・中東の流行地で感染しうる住血吸虫症。尿への排卵だけでは捉えきれず、慢性期には膀胱壁・尿管病変、水腎症、反復性腎盂腎炎へと進行することがあります。

どの場面で疑うべきか。超音波、膀胱鏡、慢性期診断の落とし穴と実地でのマネージメントを考えます。

### 6/19 (Case 8)

#### ガーナ帰りの旅行者の“黒い痂皮を伴うしこり”

ガーナから帰国した26歳女性。左下腿にゆっくり大きくなる1.5 cm大の局所腫脹。かゆみはあるが痛みや発熱はなく、中央には黒っぽい痂皮を伴う。

炭疽やリケッチア？ それとも皮膚軟部組織感染症？ 一見ありふれた皮膚病変の中に潜む旅行関連感染症を、診察アプローチとともに学びます。

### 6/26 (Case 9)

#### ホーチミン市でショックを伴う52歳男性

腹痛と嘔吐で搬送された52歳男性。発熱は改善傾向なのに、頻脈、脈圧低下、胸腹水を示唆する所見、Ht上昇、血小板減少、白血球減少を認める。

解熱時の悪化をどう読むか。重症化のサインをどう見抜き、何を優先して対応するか。都市部東南アジアで遭遇しうる重症熱性疾患を症例から考えます。

参加希望の方は下記までご連絡ください

✉ [kansen@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:kansen@ml.nagasaki-u.ac.jp)

☎ 内線：7506



IDETC 長崎大学病院  
感染症医療人育成センター